

令和2（2020）年さけます来遊状況（第7報：2/28現在）

1 サケ来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- 2月末までの全国の来遊数は、2,018万尾〔前年同期比：102%、平年同期比：36%〕で、平成以降（1989年以降）では2番目に少ない
- 北海道の来遊数は、1,833万尾〔前年同期比：104%、平年同期比：44%〕で、平成以降（1989年以降）では3番目に少ない
- 本州の来遊数は、185万尾〔前年同期比：85%、平年同期比：14%〕で、平成以降（1989年以降）最も少なく、特に太平洋側の減少が大きい

*1：平年とは、平成元（1989）～令和元（2019）年の平均値

（全国）

2月末までのサケ来遊数（全国の沿岸漁獲数と河川捕獲数の合計）は、2,018万尾〔前年同期比：102%、平年同期比：36%〕となり、平成以降（1989年以降）では2番目に少なくなりました（表1および図1）。

表1. サケ来遊数(全国)

来遊年	単位：万尾		
	来遊数 2/28 現在（最終）	河川捕獲数 2/28 現在（最終）	沿岸漁獲数 2/28 現在（最終）
2015 (H27)	4,416	488	3,928
2016 (H28)	3,154	321	2,833
2017 (H29)	2,254	258	1,996
2018 (H30)	2,979	330	2,649
2019 (R1)	1,972	282	1,690
2020 (R2)	2,018	312	1,705
平年	5,564	459	5,105

*四捨五入の影響で、捕獲数と漁獲数の合計が来遊数の合計と一致しない場合がある。

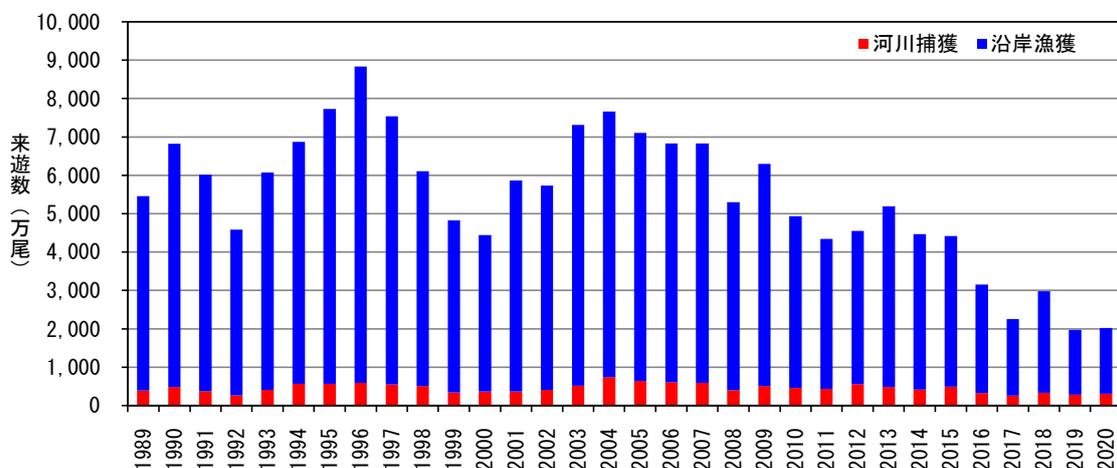


図1. 8月1日～2月28日までのサケ全国来遊数（累計値）。2020年は速報値。

(北海道)

今年度の北海道のサケ来遊数は、1,833万尾[前年同期比:104%、平年同期比:44%]となり、平成以降(1989年以降)では3番目に少なく、平成29(2017)年と令和元(2019)年に近い水準となりました(表2および図2)。

地域別にみると、太平洋側(根室～えりも以西海区)で515万尾[前年同期比:74%、平年同期比:22%]となり、前年および平年を下回りましたが、日本海側(オホーツク海区および日本海区)で1,318万尾[前年同期比:125%、平年同期比:71%]となり、前年を上回りました。

表2. サケ来遊数(北海道)

来遊年	単位：万尾		
	北海道全体 2/28 現在(最終)	北海道太平洋側 2/28 現在(最終)	北海道日本海側 2/28 現在(最終)
2015(H27)	3,682	1,832	1,850
2016(H28)	2,579	1,132	1,447
2017(H29)	1,737	578	1,159
2018(H30)	2,316	982	1,334
2019(R1)	1,756	699	1,057
2020(R2)	1,833	515	1,318
平年	4,201	2,356	1,845

*四捨五入の影響で、地域の合計が北海道全体と一致しない場合がある。

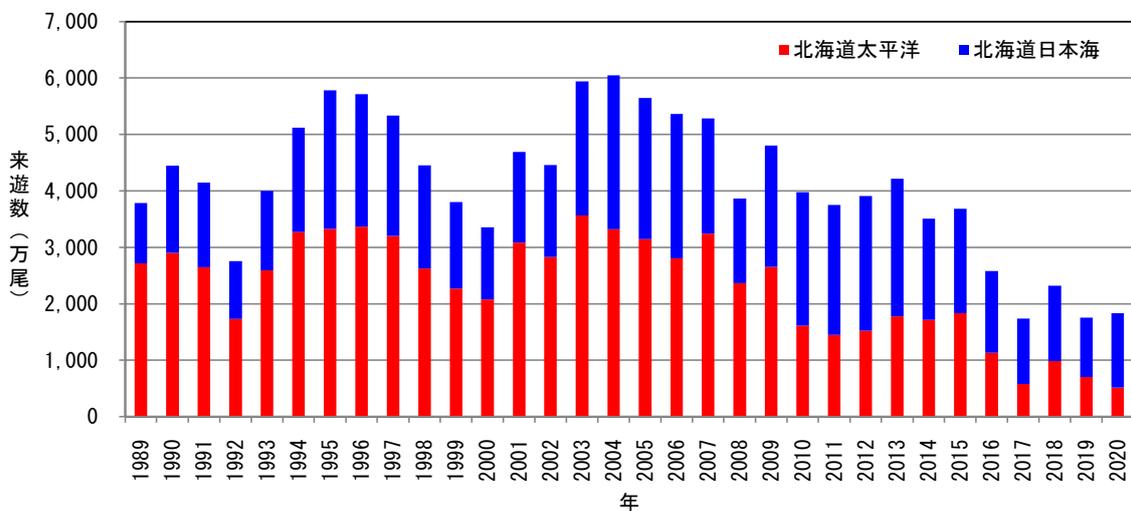


図2. 8月1日～2月28日までのサケ北海道来遊数(累計値). 2020年は速報値.

(本州)

2月末までの本州のサケ来遊数は、185万尾[前年同期比：85%、平年同期比：14%]と平成以降（1989年以降）では最も少なくなりました（表3および図3）。

地域別にみると、太平洋側で118万尾[前年同期比：70%、平年同期比：9%]、日本海側で66万尾[前年同期比：140%、平年同期比：87%]となり、特に太平洋側の減少が大きくなり、平成以降（1989年以降）では最も少なくなりました。

表3. サケ来遊数(本州)

来遊年	単位：万尾		
	本州全体 2/28 現在（最終）	本州太平洋側 2/28 現在（最終）	本州日本海側 2/28 現在（最終）
2015 (H27)	734	607	128
2016 (H28)	575	510	65
2017 (H29)	518	450	68
2018 (H30)	663	599	64
2019 (R1)	217	170	47
2020 (R2)	185	118	66
平年	1,363	1,286	76

*四捨五入の影響で、地域の合計が本州全体と一致しない場合がある。

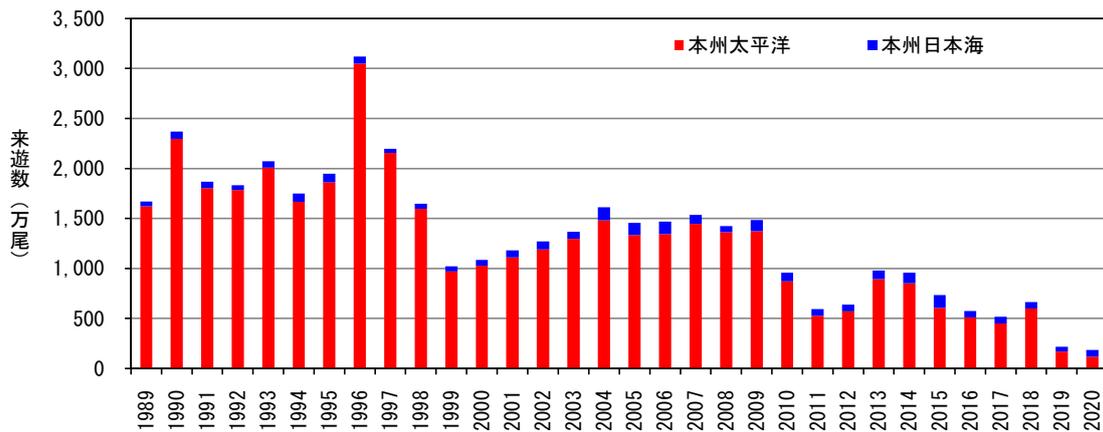


図3. 8月1日～2月28日までのサケ本州来遊数（累計値）。2020年は速報値。